

文久三年十一月八日より文久三年十一月十一日まで

P8311055 right

箱賀贈せられ、且外に問合せ書有し、せき女猶また来る、木村より袴地(小倉)賀贈らせらる、白石より□持賀糕贈り来る

八日亥 晴

長蔵来る函館随従の義談す、山本(長賀)に来る、せき女より鶏卵一管賀贈せらる、出殿、五郎生旧北堂尋病品(煮豆)持参、伊藤伯母同断、上白米 並切餅等持参、須崎長尾より鶏卵一管正覚より新海苔五帖賀贈り来る

九日子 晴

加州太田(勘)来り面す、金港永持より賀状届く、出殿、鎗□術免許以上のもの上證■
退出薄晩に近く、■■■■の賀品(小倉袴地)遣せし旨、□島訪病所(煮染折談)遣せし旨

右は須崎■へ

托し遣し、且同方へ小品遣せし旨、新見駿州より家来して嘉山態之助の義頼来りし旨

□道玄来り

P8311055 left

(箱館村田(貞)同心に被召抱直に定役出役被仰付吹聴状届く、叔母黄窪へ泊宿に行く移居の支度也)し旨、桑名船□へ鶏卵一管遣せし旨、且同人方より転賀として自筆の扇五柄、金唐紙一枚贈りし旨

十日丑 晴

長田(露)より御用召吹聴状来る(徳蔵と大助、本日坂町居邸へ移る荷物等運転す、三橋(野)賀として来り面す、出殿、松村(□)より転賀として鯉等贈り来りし旨、板倉屋より同断、揖斐(出雲守、家

来斉藤弥十郎見に来る、一面し粗極め遣す、尤問合遣し候積り命じ置、藤山稽古に来る、

山本(次郎)より大鯛

二尾(賀)贈し来る、監察真三郎より函館行鹵簿(※)問合のもの差越旨、せき女尚また一旦帰宿十一日寅 晴

野宮(市)より鯉節一連賀贈し来る、出殿、退出薄晩に近し、寺山小君来り、小品持参一杯を勸し旨、宿岡(定)

柳亭同道賀に来り、宿岡より鶏卵一管を賀贈す一杯を勸し旨、柳亭は泊宿、田村より鯉節一管大野(林)、

山本(□)より同所、太田屋より魚数尾を賀贈し来る旨、右柳亭より五色扇を贈らる

*:鹵簿(ろぼ)、天皇や皇族の行列、日載では鹵簿となっているが多分(簿)か、ユーモア

(内は細字双行(二行に小さい文字で二行書き)などの場合です。

□印は解説未了の文字です。私の実力ではすぐ解説できません【文字判読不可】、■は、文章の一部に汚れ、虫食いにより文字が無い等です。